

令和3年8月23日

尾瀬ガイド協会
会長 石塚 照久 様

公益財団法人尾瀬保護財団 事務局長
田中 佑典

(抗議文)

尾瀬ガイド協会の公式 Twitter における相次ぐ差別的発言について

尾瀬ガイド協会の公式 Twitter アカウントより発信された投稿のなかに、女性差別、民族差別、人種差別に該当する発言が相次いでいる事態を受け、同じく尾瀬に関わる組織として、遺憾の意を表し、本書のとおり抗議文を発出いたします。

尾瀬保護財団は、尾瀬の自然環境保護を目的として立ち上げられた団体であり、尾瀬国立公園協議会により策定された新・尾瀬ビジョンの行動理念「みんなの尾瀬を みんなで守り みんなで楽しむ」に沿って、尾瀬の利用者、ボランティア、そして尾瀬とともに生きる大勢の皆様方のご協力を得ながら日々活動しております。

尾瀬ガイド協会公式 Twitter での過去の発言は、セクシャルハラスメント、容姿による差別（ルッキズム）、女性差別、民族差別、人種差別など、看過することができない人権侵害であると同時に、ガイドの利用に当たって特定の方々に強い不安を与えてしまうなど、新・尾瀬ビジョンの理念を毀損することにも繋がり得るものです。また、それらの投稿を協会内で把握し、指摘することができなかったという、ガバナンス上の問題点もあったように見受けられます。

これらの差別的投稿について、尾瀬保護財団は、人権を侵害するのみならず、尾瀬に来てくださる登山者の皆様、尾瀬の自然環境保護のために協力してくださるボランティア・関係者の皆様、そして何より、尾瀬の魅力を伝えようと日々努力を重ねているその他大勢のガイドの皆様の信頼を裏切る行為であると認識しており、同じく尾瀬に関わる組織として、断じて容認することはできず、強く抗議いたします。

尾瀬ガイド協会には、本事案を単なる担当者の個人的問題とすることなく、組織のガバナンス上の問題として重大に受け止めていただきたいと思えます。

また、二度と同じ過ちを繰り返すことがないように、人権問題への理解を深める貴重な契機として本問題に真摯に向き合い、これらの発言のどこに問題があったのか理解し、学んでいただくとともに、誰もが安心して利用できるガイド体制の再構築に向けて、対応を検討していただきたいと切に思えます。

差別のない、万人に開かれた尾瀬をともに築き上げていくパートナーとして、尾瀬ガイド協会とともに再び活動できることを期待しております。